

第1回ワークショップ報告

(7.8開催「丸岡城城山整備基本計画策定に向けたエクスカーション」より)

「植栽」「遺構」「建物」「その他」の視点で課題を整理し、現地で確認



丸岡城の建造物に関する課題

○天守の維持管理

→防災・防犯への対応

→入場チケットの販売・管理

○往時の建造物（石橋門・豊原門・不明門・埋門および多聞櫓・

東櫓・塀・番代所・宝蔵・土蔵）の発掘調査

→正確な位置、柱配置、遺構面の深さ等の調査確認が必要

○往時の建造物の構造調査

→門の上部構造や基礎構造等の調査確認が必要



【専門家の意見】

- ・正規の入口をきちんと整備しなければならない。
- ・松の丸と本丸を分ける石垣と門があったことを示す整備をすることが大切。
- ・すべての石垣や建物の復元は難しいかもしれないが、石垣や門、櫓がどこにあったのか分かるようにしなければならない。

【市民の声】

- ・門や櫓、内堀の復元等の目に見える整備を毎年継続して行うことが大切。
- ・復元可能な建築物などから整備し、滞在時間を延ばす。
- ・門の里帰りを！
- ・門の復元が必要だが、無理なら案内看板が必要である。
- ・井戸も綺麗に丁寧にすべき。

丸岡城の遺構に関する課題

○調査済遺構の顕在化

→天守台周辺、本丸広場

○未調査遺構の考古学的調査

→残存石垣には近代以降の石垣が含まれ、確認調査が必要

→登城路は失われており、確認調査が必要

○石垣や周辺法面の安全対策

→石垣から落石発生

→周辺法面の崩落等の発生



【専門家の意見】

- ・城跡としての丸岡城は満身創痍で、ほとんどの遺構がなくなってしまっている。
- ・法面に石垣の一部が残っており、詳細な分析が必要。
- ・石垣で多くの崩れが確認されており、転落防止のネット施工や危険な石垣からの隔離対応など、緊急性に沿った対応が必要。

【市民の声】

- ・本丸以外に遺跡を感じられる遺構が少ない。
- ・遺構の説明がない。調査された遺構を見せる工夫が欲しい。
- ・現代に積まれた石垣を野面積みに修復できないか。
- ・調査と復元が大切。
- ・崩れ等の防止対策。

植栽に関する課題

○城跡に相応しい植生景観

- 城郭内の樹種としてふさわしくない植生の取り扱い
- 樹根による石垣への悪影響（背面からの圧力増加）
- 高く育ちすぎた樹木による、視点場から天守への眺望阻害

○健全な植生環境

- 全体的な樹木植生の衰弱
- 密植による日照その他の植生条件悪化。
- サクラの老朽化



【専門家の意見】

- ・現況の樹木管理は問題が多い。
- ・鳥が運んだ種が生育した樹木が見られる。こういった樹木は法面に根を張り、崩落を防ぐ効果がある一方で、大きくなりすぎて石垣を痛めることもある。
- ・まずは枯れたり腐ったりした危険な樹木から処理する必要がある。
- ・城郭内の植生としてはマツだが、サクラ、モミジあたりはあってもよい。

【市民の声】

- ・さくらの名所100選にふさわしい状態にしてほしい。
- ・石垣に影響する樹木は危ないということは理解はできるがサクラがなくなるのもさみしい。
- ・サクラよりも石垣の保全が優先では。
- ・景観を損なわないよう伐採や間引が必要。

その他の課題

○景観と眺望

- 管理事務所による観光情報センター方面からの眺望阻害
- 既存公園施設の意匠と管理（ベンチの老朽化など）

○文化財としての整備と公園機能との両立

- 歩きにくい登城路の整備
- 夜間の入場制限
- 文化財としての価値と関わりの薄い公園施設や碑の取り扱い



【専門家の意見】

- ・園路が非常に歩きにくい。
- ・公園としては車椅子が通れるコースがあるかもチェックしなければならない。
- ・丸岡城は公園としての一面と遺跡として的一面があり、それらをうまく調整していくことが今後の運用に繋がっていく。

【市民の声】

- ・券売所の老朽化、二階の景観阻害。
- ・バリアフリー対応や、見学動線設定。
- ・乱立している石碑、仏像の整理。
- ・便益施設の老朽化整備。
- ・通路もアスファルトではないものに。
- ・入口階段の手すりは景観を損なう。
- ・観光地目線で、駐車場が少ない。